

プログラム研究会 発足記念講演会

演題： 「プログラミングのコツ：ロジカルシンキング」

講師： 長崎大学大学院 水産・環境科学総合研究科

准教授 山田 明德 先生

日時： 平成29年4月27日（木）午後5時から6時半

場所： 栄養学棟2階 204号室

要旨：「プログラミング」において最も重要なことはロジカルシンキングである。すなわち、プログラムはいわば論理構造式そのものであり、ひとつでも論理構造に矛盾があったり、ひとつでも正確に定義されていない変数があれば、プログラムは実行できない。そこで、ロジカルシンキングについて具体的な例を紹介しながら講演を行う。

人工知能（AI）の急激な進歩により、プログラミング教育の重要性が増してきている。しかしながら、日本のプログラミング教育、特に生物学者のプログラミング教育は、非常に貧弱である。その結果、生物学の研究に精通し、かつ、バイオインフォマティクスにも精通した研究者は、日本ではほとんどいない。栄養学の分野でも、これまでも大規模な食事調査なども行ってきたが、そのデータが大きくなればなるほど、そのデータを十分に生かし切れていない。そこで、医科栄養学科内に学際的な学問を発展させ、栄養学に精通したバイオインフォマティシャンを育成するため、プログラム研究会を発足させ、その記念講演会を行うこととした。

本講演の講師は、京都大学理学部のご出身で生物（シロアリ）の行動生理学をバイオインフォマティクスを駆使して研究されている。私自身も、「宇宙環境で培養した筋細胞のトランスクリプトミクス」に関する研究を共同で行っている（次世代シーケンスデータの解析を指導していただいている）。今回、プログラミング研究会を発足にあたり、記念講演をお願いしたしだいである。

講演終了後、プログラム研究会の受付を行います。一緒にプログラミングを勉強しようという情熱のある方は、どなたでも（初心者でも）大歓迎ですので、ぜひご入会ください。なお、メンバーが決まりしだい研究会の発足会は別途設けます。

* 本講演会は、栄養生命科学教育部の大学院特別講義も兼ねております。

【連絡先】 医科栄養学科 生体栄養学分野 二川 健

電話 088-633-9248

E-mail nikawa@tokushima-u.ac.jp